

社会人向け大学院
都市経営研究科
特別公開シンポジウム案内
(23年向け夏季)参加自由・無料

GSUM
Graduate School of
Urban Management

大阪公立大学大学院
都市経営
研究科

7/13 水
2022 18:30
-21:00

都市政策・地域経済コース特別シンポジウム 「構想40年、大阪の宝、大阪中之島美術館 ついに開館」

シンポ会場は大阪駅前第2ビル6F文化交流センターホールを予定、サイト <https://forms.office.com/r/3HiYFyP8Nq> の「都市政策・地域経済④」から必ずお申し込みください。状況によりオンラインになることもあります。事前連絡がいかない場合・お問合せは endonhd@omu.ac.jp

【趣旨】大阪中之島美術館は本年2月に開館しました。大阪市が1980年代に構想を発表したもので、1990年に準備室を設置して本格的な準備を始めてから数えても約30年かかっていた開館です。30年という期間は自治体の一般的な美術館整備期間を大幅に超えるものです。その理由はこの構想そのものが当初から持っていたものや、社会状況や経済状況の変化などいくつもの要因を挙げることができます。美術館準備室はその都度、状況に沿った形で基本計画を何度か作り直しながらかつて開館を目指してきました。その一方で美術館の生命線ともいえるコレクションは開館時に6000点を超え、内容的にも国内有数といわれるほどの充実ぶりを示し恵まれたスタートを切ることができました。一般的とは決して言えない当美術館整備が辿った変遷とそれによって変化してきた美術館像などを紹介するとともに、現在の美術館の姿とコレクションの内容、さらには今後の活動の目指す姿などを紹介します。



◀【特別講演】菅谷富夫（大阪中之島美術館初代館長）
1958年千葉県生まれ。財団法人滋賀県陶芸の森学芸員、大阪市立近代美術館建設準備室学芸員を経て2017年より大阪中之島美術館準備室長。2019年より現職。近代デザイン、写真、現代美術の分野を担当する一方、新しい美術館整備を統括する。館外においても上記分野の批評・評論活動を多数行う。準備室時代に担当した主な展覧会は「美術都市・大阪の発見」展（1997年）、「早川良雄の時代」展（2002年）など。共著に『都市デザインの手法』（1998年）、『デザイン史を学ぶクリティカルワークス』（2006年）など。論を研究。



【司会】遠藤尚秀（都市経営研究科長）関西学院大学大学院経営戦略研究科博士課程後期課程修了。博士（先端マネジメント）、公認会計士、英国勅許公共財務会計士。会計専門職大学院・自治大学校等で公会計論等について教鞭をとりつつ国家/地方公務員・地方議員向け研修、包括外部監査等に携わる。グッド・ガバナンスを参考にしつつ、地域経営



【コメント】佐藤道彦（都市経営研究科教授）元大阪市計画調整局長、元堺市副市長。京都大学工学部卒、大阪府立大学大学院経済学研究科経営学専攻修了。大阪市の都市計画部局において都心部・ベイエリアでの都市再生政策にたずさわる。編著『まちづくりノベーション』（日本評論社）、共著に『日本の都市づくり』（朝倉書店）他。

7/22 金
2022 18:30
-21:00

都市ビジネスコース特別シンポジウム

「①中小企業DXをAIでひらく」「②教育機関で拡がるデータサイエンス教育」「③社会人大学院の中のデータサイエンスの意義と課題」

シンポ会場は大阪駅前第2ビル6F文化交流センターホールを予定、状況によりオンラインになることもあります。サイト <https://forms.office.com/r/3HiYFyP8Nq> の「都市ビジネス⑥」から必ずお申し込みください。直前連絡がいかない場合・お問合せは chika@omu.ac.jp

【趣旨】この2年間、日本および世界は、感染症に大いに苦しみました。その中、新しいビジネスや生活様式の実現のために、オンラインやICT&AI関係のサービスが大いに導入されました。さらには、仮想経済圏として、あのメタ（旧フェイスブック）によるメタバースや暗号資産やNFTも大きな注目を集めています。マーケティング分野においても、MA（マーケティング・オートメーション）が伸長しています。そこで、新進気鋭の企業家の講演を中心に、具体的な事例を交えて、AIやデータサイエンスの経済経営への意義や課題を考えます。



◀【パネリスト①】廣見剛利氏 大阪市内で、広告業を経営。(株)マーケットデザイン代表取締役。セールスフォースのAIエンジンを活用して、マーケティングオートメーション(MA)を社内に導入し大きな成果をあげている。

▶【パネリスト②】金野和弘（都市経営研究科・都市ビジネスコース教授）地域事業戦略論や地域アントレプレナーシップ論などを担当しています。データや人工知能を活用した中小企業の活性化を研究しています。



▶【司会】梅原清宏（都市経営研究科・都市ビジネスコース教授）ICTビジネス論や経営情報論などを担当しています。中小企業経営及びその情報化を実務面から研究しています。

◀【趣旨説明・パネリスト③】近勝彦（都市経営研究科・都市ビジネスコース教授）情報経済論、e-マーケティング、ミクロ経済論などを担当しています。情報経済および情報社会を研究テーマとしています。『IT資本論』『創造社会のデザイン』等著書多数。



詳細は

<https://www.omu.ac.jp/gsum>